

授業形式 ／Class format	この科目は【面接授業科目】です。 面接授業科目とは全授業回の内、半数以上を面接授業形式(対面形式)で行う科目を指します。 本科目は、以下の【 1 】形式で予定しています。 1. 全回面接授業を予定している(遠隔授業形式を取り入れない)。 2. 資料配信型授業を取り入れる。 3. オンデマンド型授業を取り入れる。 4. ライブ型オンライン授業を取り入れる。 5. ハイフレックス型授業を取り入れる。
履修条件・関連科目等 ／Prerequisites and Co-requisites	★専門演習は、3年生と4年生が合同で、毎週火曜日4限に、ゼミ形式で行います。ファイナンスに興味をもって取り組めることを履修条件とします。 ・3年生は、春学期にA1、秋学期にA2を履修します。 ・4年生は、春学期にB1、秋学期にB2を履修します。 石島ゼミの選考方法に関する最新情報は、オリジナルのゼミサイトにアクセスしてください。 石島ゼミURL: https://ilabfe.jp/index.php/about-us/seminar-information
授業で使用する言語 ／Language Used in Class	日本語 / Japanese
授業で使用する言語(その他の言語名) ／Language Used in Class (Other)	
授業の概要 ／Course Description	本専門演習は、「ファイナンス」のゼミです。 専門演習A1・A2の概要 3年生はテキストを輪読します。担当箇所を熟読し理解した上で発表資料を作成し、ゼミで発表します。 また、3年生・4年生混成の数名のグループごとに、2つのプロジェクトに取り組みます。 専門演習B1・B2の概要 4年生も、2つのプロジェクトに取り組みます。3年生・4年生混成の数名のグループごとに、プロジェクトに関連する文献や資料を収集・精読しつつ、調査や分析を実施し、議論します。 プロジェクト発表会の概要 専門演習A1・A2、B1・B2どちらにおいても、プロジェクトの成果を発表するプロジェクト発表会を2回行います。論理的な説得力や明快な仮説・検証を備えたスライド(PowerPoint)とスプレッドシート(Excel)を準備の上で、プレゼンを行います。
科目目的 ／Course Objectives	本専門演習は、3年生と4年生が合同で毎週火曜日4限に、ゼミ形式で行います。毎回のゼミはセッションA、B、Cより構成されます(詳細は、「授業計画と内容」欄を参照してください)。 3年生は、就活で確実に成功する準備を目的として、ファイナンス基礎知識を身につけるとともに、4年生とOB/OGから話を聞いて、業界分析・企業分析・自己分析を行います。 4年生は、就活を確実に成功させることが目的です。また、「4つの要素:ファイナンス×AI・データ×英語・発信×サステナビリティ」を掛け合わせて修得すること、さらに磨きをかけます。 このゼミでは、勉強は一生であること、そして、生き残るためにはどのような勉強をすべきなのか、社会に出た後も自ら考え、学び続ける力を、学生のうちに身につけます。 勉強においては、座学はもちろん必要です。 加えて、自分の力が最も発揮できるポジショニング(立ち位置)やピボティング(作戦変更)を見出し、自分のキャリアに刺激を与えてくれる人的ネットワークをどのように構築するのか、といった観点からの勉強も必要だと考えます。 そして、サステナビリティやAIの時代にあって最も重要なことは、一緒に仕事をしなくなるような人間性です。これをゼミの仲間・教員・OB/OGとの活動を通じて学ぶことを目的としています。
到達目標 ／Achievement Goals	石島ゼミでは、1999年の創設以来、「3つの要素:ファイナンス×ICT×英語」を修得することを具体的な目標とし、「その他特記事項」欄に記載するように、各分野で世界的に活躍する多くの人材を輩出してきました。その目標を20年ぶりに改訂し、「4つの要素:ファイナンス×AI・データ×英語・発信×サステナビリティ」を掛け算として修得し、2050年の世界で活躍することを目標にします。学年ごとの目標は以下の通りです。 3年生向けの専門演習A1・A2の目標: ○ ファイナンスの基礎理論、および会計の基礎を修得する。 ○ 自分の問題意識に従い、参考文献などを調査する力を養う。 ○ 論理的で分かりやすいプレゼンテーションを行うスキルを身につける。 4年生向けの専門演習B1・B2の目標: ○ 各自の問題意識に従い、関連・先行研究を調査する能力や、ビジネスプランを立案する能力を養う。 ○ 独創性・有用性・論理的説得力を備えた論文、または明快な仮説・検証を備えたビジネスプランに関するレポートを作成する。 ○ 自分の考えを分かりやすくプレゼンテーションするスキルを身につける。必要に応じて、短時間で明快に自分のアイデアを提案するピッチのスキルを磨く。 ○ 3年生を先導する役割を担う。
授業計画と内容 ／Course Plan	本専門演習は、3年生と4年生が合同で毎週火曜日4限にゼミ形式で行います。 毎回のゼミはセッションA、B、Cより構成されます。テンポよく、効果的かつ楽しく、ファイナンスの実践力を養います。 以下の記載に現れる丸数字①から⑭は授業回数を表します。 ★セッションA:3年生が担当する 「3年生による会計基礎テキストの輪読」を行う。新学期開始後、第3回目授業から行う。 テキストは、永野則雄『ケースブック 会計学入門 第4版(新世社)』を予定。 ①会計とは何か ②会計の仕組みと規則 ③財務諸表の作成原理 ④棚卸資産の会計 ⑤固定資産の会計 ⑥金融資産の会計 ⑦負債の会計 ⑧純資産の会計 ⑨収益・費用・税金の会計 ⑩連結の貸借対照表と損益計算書 ⑪その他財務諸表 ★セッションB&C: BとCは連動して各回①～⑭のテーマに取り組む。 セッションB: 教員によるファイナンス基礎のレビュー。 セッションC: グループごとに、プロジェクトへ向けたディスカッションと作業。 【財務分析】 ①ビジネスと財務 ②ビジネスとキャッシュフロー ③財務諸表の要約 【市場分析】 ④リターンとリスク ⑤ポートフォリオと資産運用 【プロジェクト1発表会:企業分析と評価】 ⑥前半の3グループ ⑦後半の3グループ 【ESG投資】 ⑧ESG投資の3つの本質 ⑨気候変動とその抑止、二酸化炭素(温室効果ガス) ⑩二酸化炭素、企業財務、株価 ⑪企業の目的とガバナンス ⑫ESGレーティングとESG企業価値評価 【プロジェクト2発表会:ESGレーティング】 ⑬前半の3グループ ⑭後半の3グループ

授業時間外の学修の内容 ／Independent Study Outside of Class	その他 / Other		
授業時間外の学修の内容（その他の内容等） ／Independent Study Outside of Class (Other)	石島ゼミでは、特に、自学自修に力を入れてほしいと思います。教員や先輩ゼミ生は、新しい研究テーマやビジネスの動向に強い関心をもっていきます。体系立てたテキストや日本語資料がない場合もあります。そうした新しい動向についても、自ら進んで学んでほしいと考えています。 【参考】授業時間外の学修の実績。 ・ゼミ合宿@北海道大学(2026.9.13-9.15): 2泊3日でファイナンスの特定テーマ「資産運用」「不動産ファイナンス」「ESG投資」について集中的に学ぶとともに、就活対策を行いました。 ・先輩に聞く: ビジネスで活躍し成功している石島ゼミOB/OGにゼミ生がインタビューする企画です。過去のインタビュー記事: https://ilabfe.jp/index.php/networking ・学会運営: 様々な学会の準備・運営を行ってきました。 ・日本不動産金融工学会定期大会@中央大学(2018-2026年) ・日本ファイナンス学会第32回大会@中央大学茗荷谷キャンパス(2024.6.29-30)、 ・JAFEE-ISM International Symposium@中央大学駿河台キャンパス(2023.8.18-19) ・第26回アジア不動産学会2022 年東京国際大会@東大・一橋大・中大(2022.8.4-7) 詳細は「その他特記事項」欄を参照のこと。		
授業時間外の学修に必要な時間数／週 ／Required Hours of Independent Study Outside of Class per Week	・毎週1回の授業が半期(前期または後期)または通年で完結するもの。1週間あたり4時間の学修を基本とします。 ・毎週2回の授業が半期(前期または後期)で完結するもの。1週間あたり8時間の学修を基本とします。		
成績評価の方法・基準 ／Evaluation Methods and Criteria	評価方法 ／Evaluation Methods	中間試験	0 %
		期末試験(到達度確認)	0 %
	レポート	20 %	
	平常点	60 %	
	その他	20 %	
	評価基準(中間試験) ／Evaluation Criteria(Midterm exam)	※ 中間試験は実施しません。	
評価基準(期末試験) ／Evaluation Criteria(Final exam)	※ 期末試験は実施しません。		
評価基準(レポート) ／Evaluation Criteria(Report)	★注意: 20%(3年生)、0%(4年生) ★3年生はテキストの輪読を行い、その成果を「レポート」として20%評価します。		
評価基準(平常点) ／Evaluation Criteria(Class participation points)	★毎回、教室で対面参加することを原則とします。授業中の発言や質問、ディスカッションへの参加など、平常点として60%評価します。なお、就活や教育実習などによって出席ができない場合には、救済措置を設けています。		
評価基準(その他) ／Evaluation Criteria(Other)	★注意: 20%(3年生)、40%(4年生) ★3年生・4年生混成の数名のグループごとに、2つのプロジェクトに取り組みます。 ★4年生はリーダーシップを発揮して3年生を育て、3年生は4年生に学びます。 ★その貢献度を「その他」として、3年生は20%評価、4年生は40%評価します。		
成績評価の方法・基準（備考） ／Evaluation Methods and Criteria (Remarks)			
課題や試験のフィードバック方法 ／Feedback Methods for Assignments and Exams	授業時間内で講評・解説の時間を設ける / Provide time for comments and explanations during class 、授業時間に限らず、manabaでフィードバックを行う / Give feedback on manaba, not only during class hours		
課題や試験のフィードバック方法（その他の内容等） ／Feedback Methods for Assignments and Exams (Other)	★輪読やプロジェクト発表会では、その場で、教員とゼミ生が口頭でコメントします。 ★輪読で3年生が個別に作成する資料や、3年生と4年生がプロジェクトで作成するスライド(PowerPoint) やスプレッドシート(Excel) については、教員がmanabaや電子メールを通じてフィードバックを行います。		
アクティブ・ラーニングの実施内容 ／Active Learning Methods	PBL(課題解決型学習) / PBL(Project-based Learning) 、ディスカッション、ディベート / Discussion, debate 、グループワーク / Group work 、プレゼンテーション / Presentations		
アクティブ・ラーニングの実施内容（その他の内容等） ／Active Learning Methods (Other)			
授業におけるICTの活用方法 ／Use of ICT in the Course	Microsoft のクラウド型オフィスアプリ(OneDrive、Word for the Web、Excel for the Web、PowerPoint for the Web) / Microsoft's cloud-based office apps		
授業におけるICTの活用方法（その他の内容等） ／Use of ICT in Class (Other)	★授業においては必ずPCを利用します。 Excel演習やPowerPointスライド作成を、個人・グループで行います。 ★石島ゼミでは、「4つの要素: ファイナンス×AI・データ×英語・発信×サステナビリティ」を掛け算として修得し、2050年の世界で活躍することを目標としています。この4つの要素は、金融でも非金融でも、金融のうちフロント・ミドル・バックのどの職種においても必須のスキルです。		
実務経験のある教員による授業 ／Classes by Instructors with Professional Experience	はい / Yes		
【実務経験有の場合】実務経験の内容 ／[If you have professional experience] Professional Experience Details	担当教員の石島は、情報処理推進機構(IPA)の末踏クリエイター(2003)であり、現在は、ことわり研究所で理論設計を担当する取締役(Managing Director/Chief Theoretical Architect)です。		

【実務経験有の場合】実務経験に関連する授業内容 ／[If you have professional experience] Professional Experience Utilized in the Class	石島ゼミの4つの要素の一つである「AI・データ」のスキル修得を効果的に進めます。
テキスト・参考文献等 ／Textbooks and References	○専門演習A1・A2のテキスト(3年生) 永野則雄『ケースブック 会計学入門 第4版(新世社)』、または同レベルの入門テキスト。 石島博『バリュエーション・マップ: 企業価値評価の科学と演習(東洋経済新報社)』 ○専門演習B1・B2の参考書(4年生) 各自の興味とテーマに沿った文献を最低1.5冊精読します。 ○その他 石島博『ファイナンスの理論と応用1: 資産運用と価格評価の要素(日科技連出版社&東洋経済新報社)』 石島博『ファイナンスの理論と応用2: 正規分布で解く資産の動的評価(日科技連出版社&東洋経済新報社)』 石島博『ファイナンスの理論と応用3: 資産価格モデルの展開(日科技連出版社&東洋経済新報社)』 本田桂子・伊藤隆敏『ESG投資の成り立ち、実践と未来(日本経済新聞社)』
オフィスアワー ／Office Hours	ゼミの後にオフィスアワーを設けます。 希望に応じて、Webexを利用したオンラインのオフィスアワーも行います。
その他特記事項 ／Special Notes	石島ゼミはこれまで、慶應義塾SFC(1999-2003)、大阪大学(2006)、青山学院(2012)にて、ファイナンスのゼミを運営してきました。その後、コロナピア大学ビジネススクールでの研究成果(2018-2019)を携えて、2019 年度秋学期より中央大学法学部で学部ゼミを再開しました。 石島ゼミは、上場企業CEO(1名)、上場企業CFO(3名)、エンジェル投資家、ファンド経営者、ビジネスローヤー(国内最大手法律事務所・企業法務弁護士・パートナー2名)、公認会計士(法学部在学中合格)、IMF上級エコノミスト、研究者(博士5名)をはじめ、金融機関・行政機関・メーカー・不動産など、様々な分野で活躍するOB/OGがいます。学内・学外でのネットワーキングも積極的にを行い、就職やキャリア形成にも強いゼミを目指します。 ★石島ゼミの活動やゼミ生によるブログ: URL: https://ilabfe.jp/index.php/about-us/about-ishijima-seminar ★日本経済新聞電子版「就活探偵団」に就活に強いゼミとして紹介されました(2023.4.19): URL: https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC034I40T00C23A400000/ ★石島ゼミの募集・選考(レポート・面接)に関する最新情報は、以下のホームページへアクセスしてください。 URL: https://ilabfe.jp/index.php/about-us/seminar-information URL 1: https://nfa-net.jp/seminar/3136-2/ URL 2: http://www.jafee.gr.jp/01rally/jafee_30th.html URL 3: https://jarefe.com/index.php/asres ★石島ゼミでは、プロジェクトの一部として、「ESGスコアの構築」「企業価値創造」等にも取り組んでいます。その成果は以下の学会発表や受賞として結実しました。 ○寺内宏輔、上原明、鄭賀駿、石島博、他2名“食料品産業における研究開発が先導する企業価値創造の実証”日本不動産金融工学会(JAREFE) 2026 定期大会 2026年2月27日。 ○大川恭平、中村幸太郎、栗木理緒、石島博“炭素調整後PER導入によるカーボンニュートラルの実現,”日本不動産金融工学会(JAREFE) 2022 定期大会 2022年2月26日。 URL: https://www.jarefe.com/index.php/blogs/2022-2-26_annual_meeting_3 ○Bloomberg社主催、ESG投資コンテスト ファイナリスト入賞(2021.12)、中央大学「しまうま」チーム、 URL: https://www.bloomberg.co.jp/company/stories/esg_investment_contest_2021/ 参考URL ○石島博の連絡先Email: hiroshi.ishijima.77b@ ※連絡先Emailにはアットマークの以降に、g.chuo-u.ac.jpを付けてください。 ○石島ゼミURL(選考方法・入ゼミレポート提出フォーム): https://ilabfe.jp/index.php/about-us/seminar-information
参考URL ／URLs for Reference	○石島博の連絡先Email: hiroshi.ishijima.77b@ ※連絡先Emailにはアットマーク@以降に、g.chuo-u.ac.jpを付けてください。 ○石島ゼミURL(選考方法・入ゼミレポート提出フォーム): https://ilabfe.jp/index.php/about-us/seminar-information ○Instagram(ゼミ生運営): https://www.instagram.com/ishijima_finance/ ○X(ゼミ生運営): https://x.com/ishijima_lab
備考 ／Remarks	
生成系AI利用上の注意事項 ／Precautions for Using Generative AI	
コメント1 ／Comment1	【初回授業についてはこちらに記入をお願いします】
コメント2 ／Comment2	★【現時点で使用しないでください。】
コメント3 ／Comment3	★【現時点で使用しないでください。】
コメント4 ／Comment4	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、以下をご確認ください。 https://www.chuo-u.ac.jp/academics/faculties/law/departments/